

10月30日(月)

テ テ レ ス タ イ

聖書朗読 ヨハネ 19:28~30

「完了した」と言われた。

ヨハネ 19:30

あなたは、蓋の空いた棺を見たとき、何を思うでしょうか？ 故人との最後に会った時のことを思い出すでしょうか？ あなたが故人に対して言ってしまったこと、または言わなかったことについて後悔の念に襲われたりするのでしょうか？ 故人がやり残したこと、果たせなかったこと、彼の人間関係に思いをはせるでしょうか？

今まで生きてきた中でも、すでに多くのことが終わってきています。まずは高校です。高校が終わると、大学に進学するか、もしくはすぐに社会に出ます。その後の様々なことを経験します。しかし、全てを完成させたり、終わらせたりすることは私たちにはできません！ 死に直面すると、私たちがこの事実を思い知るのです。そのため、私たちが、最後にイエス様のように「完了した」と感じることはできないでしょう。

しかし、私たちはキリストによって、神との平和を持っています！ イエス様は十字架上で言われました。『完了した』。ギリシャ語では「テテレスタイ」です。これはピリオドを打つ、完成する、全うするという意味です。つまり、「使命は果たされた」という意味です。イエス様は全てを支払われました。イエス様がすでに私たちのためにしてくださったことを私たちがする必要はないのです。『完了した』。この言葉により、イエス様は神との平和を私たちに約束してくださいました。ですから私たちが完璧な人生を歩むことができるのです。

本当に多くの人々が平和を得ようともがき苦しむ。

それはすでに得られているのに。神はそうしろとはおっしゃってはおられない。

私たちがすべきことは、ただ神との平和の中に入るだけ。

————— ドワイト・ムーディー

讃美歌 531

祈り

親愛なるお父様。あなたさまの一人子という尊い賜物を私たちにお与えくださり感謝いたします。イエス様の十字架での働きに感謝いたします。あなた様が働いてくださったため、全てが完了しています。イエス様が私たちにしてくださったことをする必要はありません。イエス様の十字架での働きのため、私たちは罪ではなく感謝の気持ちをもって生きていけますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョン・バーネット

テネシー州 ナッシュビル

今日のカ

2017年10月30日~11月4日

翻訳 阿部 や よ い

編集 岩 田 欣 三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月31日(火)

祝 福 さ れ て い ま す

聖書朗読 ヨハネ 20:24~31

見ずに信じる者は幸いです。

ヨハネ 20:29

今日の聖書朗読箇所は聖書の中で最もわくわくするところです。主は、金曜日の恐ろしい十字架刑の後、日曜日によみがえり、弟子たちの前に現れました。しかし、弟子の一人であるトマスはそこにいませんでした。ほかの弟子たちがイエス様に会ったとトマスに言ったとき、トマスは『私は、その手の釘の跡を見、私の指を釘のところ差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません』ときっぱりと言いました。

一週間後、弟子たちはみな一緒に室内にいました。今回はトマスもそこにいました。そこにイエス様が現れ、そしてトマスに言いました。『あなたの指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで。信じる者になりなさい。』(ヨハネ 20:27)

このお話は私たちに二つのことを約束しています。まず一つは、イエス様にとっては、全ての人の方が大切であるということです。その場にいなかった一人を説得するために、イエス様は再び弟子たちの前に現れました。そして、二つ目は、信じることは主にとってとても大切なことであるということです。イエス様はおっしゃいました。『あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。』(ヨハネ 20:29)

この言葉はあなたにも、私にも向けられた言葉です。見てなくても信じる。そうすれば、主がおっしゃるように、私たちは祝福されます。なぜなら私たちは主を知っているからです！

讃美歌 第二編 101

祈り 聖なる神、我が父。全ての称賛と光栄はあなた様のものです。御子と信仰の賜物に心から感謝いたします。私たちはゴルゴダの丘にいませんでした。でも私たちは信じます。

イエス様を通して。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウェストレイクヴィレッジ

11月1日(水)

ど う に か し て

聖書朗読 使徒 20:17~38

「もう二度と私の顔をみる事ができないでしょう」と言ったことばによって、特に心を痛めた。 使徒 20:38

私は今、65年の間に書きためた物、思い出の物を整理しています。何十年も前の出来事に関する書類や、写真を見つけたりもしました。もうこの世にはいない友人や家族が笑って映っている写真を見つけると、どうしても作業の手が止まってしまいます。どうにかして、あともう一度でいいからその友人たちと一緒に時を過ごしたいなと思ってしまいます。どうにかして祖父の畑で撮られた白黒の写真に写っている母の手をもう一度握りたいと思ってしまいます。

エペソの長老たちもパウロが去った後も、何年もの間、同じ思いであったのだと思います。彼らは、喜びや涙とともに、パウロとともに過ごした時を思い出したことでしょう。いくら時が過ぎても、私たちの過去は消え去りません。パウロが去って、どんなに時がたとうとも、希望と励ましのメッセージは彼らとともにありました。

私にはもう一度も戻れたらという思い出があります。この思い出は私を支え、未来のための思い出を作っています。私の人生が今も、そしてこの先なるであろう思い出の中で救い主を映す鏡となるよう、この時間を賢く使うことができますように。

讃美歌 405

祈り 親愛なる主。思い出とはなんと貴重なことでしょうか。今日の私の行いが、誰かのよき思い出となりますように、そして私の行いによってあなた様の最高の賜物すべてに対する私の感謝の気持ちを世界に示すことができるようにお祈りいたします。たとえその場になくとも、私たちのために死なれた御方の命、死、復活を覚えていただけること、このすべてに感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

ピート・ナッシュ

オハイオ州 ウォーレン

11月2日 (木)

うめきの必要性

聖書朗読 ローマ 8:18~28

私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに生みの苦しみをしていることを知っています。 ローマ 8:22

この2年間、私たち家族は多くのうめきの中で過ごしてきました。家族は、不安、苛立ち、ガン、手術、抗がん剤治療、外傷性脳損傷、理学療法、糖尿病、ICU入院、交通事故などを経験しました。本当に大変でした。

今日の聖書朗読箇所は、うめきは神を信じる者の生活の一部であると言っています。パウロが書いている「うめき」は御霊の最初の実につながり、辛抱強く希望をもって主を待ち望むことにつながります。

苛立ち、うめき、そして弱さは、全て神の導きの一部です。そして、私たちが傷つき、弱り切っている時、私たちの内にある神の御霊は私たちのために神に対してうめいてくださっています！

今振り返ってみると、私は母親の生みの苦しみのような困難を経験したのだと思います。その中、神の存在が常に私たちを強めてくださり、私たちに新たな命を与えてくださいました！主よ、感謝いたします！

今日、神は私の小枝を痛みとともに切り落とした。

けれど、神の血がその傷口を包み、温める。

明日、私は再び芽を出し、実を実らせる。

———クリスティーナ・ジョジーナ・ロセッティ

讃美歌 523

祈り お父様。振り返ってみると、いつもあなた様がいてくださり、愛と強さを私にくださいました。心から感謝いたします。

イエス様によって。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ

11月3日 (金)

勝利者よりも

聖書朗読 ローマ 8:31~39

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ 8:28

ある日、「あなたが一番好きな聖書の言葉は何ですか？」と聞かれました。そのとき私は「困難な時期に最も私を救ってくれた言葉は、ローマ人への手紙8章28節でした」と答えました。

我が国は幾度も勝利と失望を経験してきました。国が困難な状況になったとき、数人の友人は、「今が最悪の時だ」と言いました。しかし、どこかで「今が最高の時だ」と言っていた人がいたことも事実です。

この世の出来事はさておき、私たちが神を、御霊の力を仰ぎ見るとき、神が私たちのうちに働いてくださっていることを知ります。神はいつでも守ってくださる御方です。『主は地をおおう天蓋の上に住まわれる。地の住民はいなごのようだ。』(イザヤ書40:22)。神は御計画を果たすために強力なリーダーを引き上げられ、そして神は『君主たちを無に帰しました』(イザヤ書40:23)のです。神は神です。そして神は私たちの益のために働いてくださっています。ローマ人への手紙8:23は、私たちが神にしっかりとつながり、荒れ狂う海の中で前にも後ろにも進めなくなっている私たちの心に平安をもたらしてくださいます。この聖句を声に出して読んでみましょう！

讃美歌 第二編 98

祈り ああ、主よ。この乱れた、罪深い世に平和の王をおおくりくださいましてありがとうございます。イエス・キリスト、我が主のうちにあるあなた様の愛から私たちを引き離すものはなにもないことに心から感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

リチャード・N・エディ
オレゴン州 グレシャム

11月4日(土)

続けることやめない

聖書朗読 ローマ 15:1~7

どうか、忍耐と励ましの神が、あなたがたを、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを持つようになさいますように。 ローマ 15:5

忍耐とは、踏みとどまり、困難な課題を成し遂げるこのとのできる能力のことです。忍耐という言葉から登山やオリンピックの10種競技のような極限スポーツを連想することがあります。このため、パウロがクリスチャン・ライフと忍耐を結び付けたことは興味深いものがあります。

クリスチャンであることは、望みうる最良の生き方ですが、それを止めることはいとも簡単です。クリスチャンとして歩んでいても、生きることはとても困難で、忍耐を求められます。

忍耐は霊的な持久力を持つことです。それは、人生で何が起きようとも、それから逃げないでいる能力です。たとえ物事が悪い方へ向かっているときでさえも耐え続けることです。痛み、悲しみ、困難な時でも信仰を持ち続けることです。神のみが私たちに続けることを止めない忍耐を与えることができるのです。

パウロが「忍耐」に対して使ったもともとのもとの言葉は「~のまま」や「置かれたままの状態である」を意味します。これは厳しい、好ましくない状況の中で育つ植物のことに例えられます。岩の裂け目で成長していく植物のイメージはクリスチャン・ライフの良い例えです。日の光に一生懸命向いて成長しているこの植物のように、クリスチャンは神の御力によって、御国を目指して成長し続けるのです。

讃美歌 508

祈り 主よ。私たちに忍耐をお与えください。日々、よりイエス様のようになれるよう成長し続けることをやめないようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

フィリップ・イッチマン
サウスカロライナ州 アイアモ

11月5日(日)

互いを受け入れる

聖書朗読 ローマ 15:7~13

私は異邦人の中で、あなたをほめたたえ、あなたの御名をほめ歌おう。

ローマ 15:9

最近、2016年にリメイクされた映画「ベン・ハー」を見ました。この映画は、一生の敵として育てられた二人の義兄弟が抱えた憎悪を描いたものでした。ユダはユダヤ人で貴族の子でした。メッサラは養子の異邦人の兄弟でした。映画のクライマックスでは、お互いを殺しあおうとする戦車競走の中にいる二人(ユダヤ人对異邦人)の兄弟が描かれていました。ユダは最後に、キリストの影響を受け、彼の兄弟を受け入れました。

使徒パウロは、異邦人のための宣教師となるために神に召されました。「互いを受け入れる」。この言葉は、パウロにとっては最大の課題でした。パウロはユダヤ人として生まれ、ユダヤ人として育ち、ユダヤ人として教育を受けました。パウロは、ユダヤ教の教えに背く異端者として見られていたクリスチャンを迫害していました。パウロは迫害することを何の疑いもなく信じていました。

パウロが異邦人への宣教を始めたとき、異邦人を受け入れているパウロを見て、ユダヤ人クリスチャンは驚きました。イエス様はパウロの心を変えました。そして私たちすべてに希望をお与えになりました。

讃美歌 402

祈り 親愛なるお父様。異邦人のうちにおられるあなた様を賛美いたします。ユダヤ人のうちにおられるあなた様に感謝いたします。全ての国、人種、言葉のうちにおられるあなた様に感謝いたします。あなた様は私たちに御国に集められ、互いを受け入れることを教えてくださっています。どうか私たちに希望をお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケン・スコット
テネシー州 ナッシュビル